

廊下を挟んで 左側が5つに分かれた収容室。右側が検疫室。

収容室は 手前から1日目の部屋(No. 1)、奥へ進むにつれ 2日目、3日目、4日目、そして5日目(No. 5)の通称「最終部屋」
突き当たりは 「立ち入り禁止」と書かれた 殺処分を行う部屋。



古びた時計が 黙々と時を刻む空間に 向かい合う「生」(検疫室)と「死」(収容室)

補獲された犬は No. 1の部屋へ（収容期間5日間）

1日ごとに 番号の大きい部屋へ移動します。

飼い主の持込み犬は No. 5の部屋（通称 最終部屋）へ 翌日殺処分となります。



No. 5 収容室の犬たち



写真 左
カメラに気が付き
目線を送る犬たち

写真 右上
隅っこで固まる子犬
たち

写真 右下
寄り添い合う そっ
くりな犬たち

**No.5 通称「最終
部屋」ギリギリま
で 生かす努力を
する職員やボラン
ティアに 無情な
時間が流れる部屋**

センター内の写真は 千葉県動物愛護センターにて 撮影